

神棚拝詞

此これの神床かむどこに坐ます 掛かけまくも畏かしこき

天照大神あまてらすおほみかみ 産土大神等うぶすなのおほかみたちの 大前おほまへを

拜をろがみ奉まつりて 恐かしこみ恐かしこみも白まをさく

大神等おほかみたちの 広ひろき厚あつき御み恵めぐみを辱かたじけなまつみ奉まつり

高たかき尊とうとき神教みおしえのまにまに 直なほき正ただしき

真まごころ心まごころもちて 誠まことの道みちに違たがふことなく

負おひ持もつ業わに励はげましめ給たまひ 家門いへかど高たかく

身健みすこやかに 世よのため人ひとのためつくに尽つくさしめ

給さしめへと 恐かしこみ恐かしこみも白まをす